

論点	大分類	課題	提案・取組案	現状や方針・今後の取組等
2	協議会	<ul style="list-style-type: none"> ◇コミュニティ研究連絡会の役割 ◇広報活動、情報公開 ◇参加促進、担い手の確保・育成 ◇事業の見直し、専門館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◇研連の役割・組織の検討 ◇様々な広報媒体でのPR、情報公開 ◇参加しやすい組織運営体制の整備 ◇事業の目的・手法・効果を検証、コミセン間・専門館との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ◇研連定例会・部会の組織・内容の見直し ◇広報紙、ホームページ等の充実 ◇参加要件・会議日程・委員の役割の見直し ◇事業実施結果を踏まえ、翌年度に反映。ネットワーク事業、共催事業を実施
3	コミセン	<ul style="list-style-type: none"> ◇コミセンの役割・事業の見直し ◇利用しやすいコミセンづくり（ルール違反への対応） ◇窓口の役割（つながりづくり） ◇広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◇各種公共施設との役割分担・連携 ◇カフェ、地域団体等の紹介 ◇利用のきまりの見直し ◇窓口担当者の役割と実践 ◇各コミセン予約状況の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ◇各種公共施設との役割分担は課題 ◇カフェ、地域団体等の紹介は一部で実施 ◇利用者意見を取り入れ、利用のきまりの見直しを随時実施 ◇使用時の氏名等記入、営利行為の判断は課題 ◇窓口会議・研修で窓口担当者が自己研鑽 ◇予約状況は2協議会がホームページで公開
4	地域団体	<ul style="list-style-type: none"> ◇活動区域の違い（連携の必要性） ◇マンション、地域内コミュニティ（町会・自治会等）との連携 ◇連携に向けた取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ◇活動区域の違いを理解し連携をすすめるor区域の一元化 ◇マンション、地域内コミュニティへの働きかけ ◇行政による地域団体との連絡調整 ◇地域団体との連携・情報共有・コミセン優先使用 	<ul style="list-style-type: none"> ◇活動区域の一元化は困難、現状の中での連携 ◇マンション、地域内コミュニティの一部と連携 ◇諸団体の主管課を通じて連絡調整 ◇運営委員会、ネットワーク事業などを通じて連携・情報共有。優先使用やロッカーの提供あり
5	行政	<ul style="list-style-type: none"> ◇コミセンの計画的更新 ◇行政の役割、コミュニティ協議会との関係 ◇行政組織の検討 ◇コミセンの防災活用 ◇評価のあり方 	<ul style="list-style-type: none"> ◇老朽化対応、バリアフリー化、ロビー機能設置、住民ニーズへの対応 ◇住民（特に新住民）へのPR ◇窓口2人体制 ◇補助金の包括的予算化 ◇協議会と行政の関係のルール化、コミュニティづくりの継続性・一貫性 ◇コミュニティ総合窓口設置 ◇コミセンの防災拠点機能の検討 ◇評価委員会と自己評価の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ◇建替え、大規模改修時などに検討。バリアフリー基本計画に基づき整備 ◇便利帳の配布、市報掲載 ◇現状での予算の増額は困難。今後の検討課題 ◇補助金の一部は柔軟に運用。会計制度の検討も必要 ◇条例、協定書以外の明文化 ◇市民活動推進課が窓口、主管課と連携・協力 ◇災害時地域支え合いステーションとして指定 ◇第三期評価委員会で整理